令和９（２０２７）年度

神戸大学大学院医学系研究科
博士課程後期課程医療創成工学専攻
学生募集要項（Ⅱ期）

令和９（２０２７）年４月入学・進学

神戸大学大学院医学系研究科

神戸大学大学院医学系研究科医療創成工学専攻について

国産医療機器の開発体制整備は社会的要請事項であり，ものづくりの基礎となる工学的な素養と医学の基礎知識を併せ持つ創造的開発人材の育成や，日本型の医療機器開発エコシステムの構築が求められます。

そのためには，最も創造性が必要な医療機器初期開発の分野において，「創造の基礎となる工学及び医学の基礎知識を修得し，医療機器の開発チームに実際に所属しながら，実践経験の中で医療機器の開発力を鍛錬する」教育が必要不可欠です。

神戸大学大学院医学系研究科医療創成工学専攻は，以上のことを実践する医工融合型の教育組織です。

神戸大学大学院医学系研究科博士課程後期課程医療創成工学専攻は，医療機器システム学，精密診断治療機器学，体内医療機器学の３つの教育研究分野によって構成されています。

神戸大学大学院医学系研究科博士課程後期課程医療創成工学専攻を修了した学生は博士（医工学）の学位を取得できます。

神戸大学大学院医学系研究科博士課程後期課程医療創成工学専攻の学生募集に関する問い合わせ先

神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）
〒650-0017　神戸市中央区楠町７丁目５番１号
電話：078-382-5342
e-mail：ikou@med.kobe-u.ac.jp

ホームページ

神戸大学大学院医学系研究科医療創成工学専攻
https://www.med.kobe-u.ac.jp/mde/

神戸大学大学院医学系研究科
https://www.med.kobe-u.ac.jp/gsm/

募集内容等を変更する場合は，神戸大学大学院医学系研究科ホームページでお知らせします。

目　　次

Ⅰ　医学系研究科博士課程後期課程医療創成工学専攻学生募集要項

１．募集人員・・１
２．出願資格・・１
３．出願手続・・２
４．受験票・・・５
５．選考方法，試験日及び試験場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
６．合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
７．入学（進学）手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
８．個人情報について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
９．麻しん（はしか）・風しん，流行性耳下腺炎，水痘の感染予防措置・・・・・・６
10．その他・・８

出願資格（７）又は（８）による出願資格審査について・・・・・・・・・・・１０

Ⅱ　医学系研究科博士課程後期課程医療創成工学専攻案内

１．教育の理念と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
２．教育課程編成の考え方及び特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
３．アドミッション・ポリシー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
４．指導教員，教育研究分野，教育内容（キーワード）・・・・・・・・・・・・・・１３

Ⅰ　医学系研究科博士課程後期課程医療創成工学専攻学生募集要項

１．募集人員：若干名

２．出願資格

次の各号のいずれかに該当する又は令和9年3月31日までに該当する見込みの者とします。

（１）修士の学位又は専門職学位を有する者

（２）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（４）我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（５）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者

（６）外国の学校，第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

（７）文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

ア　大学を卒業し，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

イ　外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（８）本研究科において，個別の出願資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，令和9年3月31日までに24歳に達する者

（注）上記の（７）又は（８）の資格によって出願を希望する者については，出願の前に個別の出願資格審査を行いますので，10～11ページを参照して必要な申請をしてください。

３．出願手続

（1）事前準備

・志願者は，出願の前に教員に連絡し，研究・開発内容について相談する必要があります。
希望により複数の教員と相談できますので、P13～14の教員情報及び医療創成工学専攻HPを確認してください。

・本研究科所定の様式（表紙）を添付のうえ提出する出願書類があります。
出願手続を進める前に、神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）宛てにメールを送信してください。メール受信後、様式を添付して返信します。

＜メール送信先＞

神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）　ikou@med.kobe-u.ac.jp
※件名は「医療創成工学専攻博士課程後期課程　様式について」としてください。

・当専攻の入学・進学試験ではWeb出願サイトを利用しますが、Web提出する出願書類と書面提出する出願書類があります。書面提出が必要な書類は(3)出願書類の提出に記載していますので、併せてご確認ください。

【Web提出に必要な出願書類】

出願書類	提出を要する志願者	備考
顔写真データ	全志願者	Web 出願サイトの指示に従い，アップロードしてください。（上半身脱帽，正面向き，無背景，出願前 3 ヶ月以内に単身で撮影した鮮明なもの，jpg，png，bmp またはheic 形式） なお，顔写真データは，受験票に使用し，受験時に本人照合を行います。 顔写真データが加工や修正により，本人と同一人物であるか確認ができない場合は，受験を続けることができない場合があります。
修士論文（写）	前期課程（修士課程）修了者	和文又は英文とする。左記論文がない場合は，これに代わるもの。
修士論文の概要	前期課程（修士課程）修了者	**本研究科所定の様式を表紙としたうえで，**和文2,000字程度のもの及び英文1,200語程度のもの和英両方をセットにして提出してください。 ただし，外国人の志願者は，英文のみとします。
研究・開発業績報告書	前期課程（修士課程）修了見込の者 又は 出願資格申請者	**本研究科所定の様式を表紙としたうえで，**和文2,000字程度のもの及び英文1,200語程度のもの各1部（A4判）：「修士の学位論文に相当する」研究・開発又はそれに関連する業績の概要を，和英両方をセットにし本研究科の所定の用紙を表紙として提出してください。 ただし，外国人の志願者は，英文のみとします。

(2) Web 出願サイトでの出願登録と検定料の支払い

＜Web 出願サイト＞ https://e-apply.jp/ds/kobe-u/

＜出願登録・検定料支払い期間＞　令和9年1月4日(月)0:00 から1月8日(金)16:59まで

・出願登録及び検定料の支払いは，別紙「Web 出願の流れ」を参照し，出願書類を書面提出する前に行ってください。

・**検定料は30,000円**で、全志願者支払いが必要です。ただし、以下に該当する者は支払い不要です。
　（ア）令和9年3月に神戸大学大学院博士課程前期課程，修士課程，専門職学位課程を修了する見込みの者
　（イ）日本国政府から現在奨学金を支給され，入学（進学）後も国費外国人留学生である者。ただし，在籍大学（神戸大学以外の場合）の発行する「国費外国人留学生証明書」を提出してください。
・検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。
・検定料について，大規模自然災害により被災した志願者には，検定料免除の特別措置を講じます。詳細は神戸大学ホームページ（https://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-examinavi/juken/menjyotou/index.html）を参照してください。

・Web 出願サイトの指示に従い，出願情報を登録するとともに，（1）事前準備の【Web 提出に必要な書類】をアップロードしてください。
・Web 出願サイトへの通信に問題がある場合は，神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）(ikou@med.kobe-u.ac.jp)に問い合わせてください。

※出願登録及び検定料の支払いだけでは出願は完了しません。必ず（3）出願書類の提出をよく読んで、手続きを行ってください。

(3) 出願書類の提出

以下の【書面提出が必要な出願書類】は窓口持参または郵送により提出してください。

【書面提出が必要な出願書類】

出願書類	提出を要する志願者	備　　考
博士課程前期課程(修士課程)の修了証明書又は修了見込証明書	出願資格（1）～（5）により出願する者	出身大学院の研究科長又は学長が発行したもの。 修了証明書に取得学位の記載がない場合は，学位授与証明書又はそれに代わるものをあわせて提出してください。

成績証明書	全志願者 ※医療創成工学専攻（博士課程前期課程）からの進学者は不要	出身大学の学部長又は学長が作成した学部の成績証明書もしくは個別の出願資格審査を受けて出願する者で学部の成績証明書を提出できない場合は，出身学校の長が作成した成績証明書
博士課程前期課程(修士課程）の成績証明書	出願資格（１）～（５）により出願する者	出身大学院の研究科長又は学長が作成したもの
研究・開発提案書	全志願者	**本研究科所定の様式を表紙としたうえで,** 和文2,000字程度以上のもの又は英文1,200語程度以上で、どのような医療機器を研究・開発しようとしているのかが分かるように記入してください。本研究科の所定の表紙に，教員より確認印または署名を得たものを提出してください。
パスポートのコピー 又は住民票	外国人志願者	住民票は現在居住する市区町村で発行されたもの（在留資格・期限等が確認でき，提出日前30日以内に作成されたもの）を提出してください。

＜出願書類の提出又は送付先＞
神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）
〒650-0017　神戸市中央区楠町７丁目５番１号　電話：078-382-5342

＜出願期間＞　令和9年1月4日(月)から1月8日(金)17:00まで

【窓口持参の場合】
・受付時間：平日9:00～17:00（ただし、12:00～13:00を除く）
・Web 出願サイトの出願登録及び検定料の支払い完了後，Web 出願サイトのマイページに表示される「入学願書」の3 ページ目「出願用宛名用紙」を印刷し，【書面提出が必要な出願書類】とあわせて提出してください。

【郵送による場合】
・1月8 日（金）消印有効
・Web 出願サイトの出願登録及び検定料の支払い完了後，Web 出願サイトのマイページに表示される「入学願書」の3 ページ目「出願用宛名用紙」をカラーで印刷し，角２サイズの封筒に貼りつけて，【書面提出が必要な出願書類】を同封し書留速達郵便で出願期間内に送付してください。
封筒の表に「後期課程医療創成工学専攻入学願書在中」と朱書してください。

出願書類に関する注意事項

・書面提出する書類は原則すべて原本とし，コピーは認めません。(「コピー」などと明記しているものを除く。）※出願書類は原則返却いたしません。
・出願書類に不備があるものは受理しないので，記載事項に記入漏れ，誤記のないよう十分注意してください。
・出願手続後の記載事項の変更は認めません。また，納付した検定料は出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。
・虚偽の申告をした者又は出願資格を満たすことができない者については，たとえ入学後であっても入学を取り消します。
・英語以外の外国語で作成された証明書等の書類については，日本語訳を必ず添付してください。

４．受験票

受験票は，出願書類等を受付後に，Web 出願サイトのマイページからダウンロードしてください。ダウンロードが可能になった時点で，Web 出願サイトに登録したメールアドレス宛に通知メールを配送します。
なお，令和9年1月18日（月）までにメールが到着しない場合は，神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）に問い合わせてください。

５．選考方法，試験日及び試験場

選考方法：学力検査及び提出書類を総合して選考します。
学力検査は，口頭試問・質疑応答等によって，以下を中心として行います。
・修士論文又は研究・開発業績報告書の内容
履修に必要な基礎学力を有しているかどうかを検査します。
・研究・開発提案書の内容
学位取得に見合う提案であるかどうかを審査します。

試験日：令和9年1月27日（水）
口頭試問の集合時間等は，別途Web 出願サイトに登録したメールアドレス宛に通知メールを配送します。

試験場：神戸大学医学部研究棟Ｅ 2階
〒650-0017 神戸市中央区楠町 7 丁目 5 番 1 号
・JR「神戸」駅下車 徒歩約 15 分
・神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車 徒歩約 15 分
・神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車 徒歩約 5 分
・JR「神戸」駅前より神戸市バス 110 系統に乗車　約 5 分「大学病院前」バス停下車

注意事項

①試験当日は，必ず受験票を携帯してください。
②時計は，時計機能だけのものを使用してください。
③受験のための宿舎の紹介はしません。
④身体に障がいがある者で受験の際に特別な配慮を必要とする者は，出願の2週間前までに申し出てください。

６．合格者発表

令和9年2月19日（金）10時（予定）
神戸大学大学院医学系研究科ホームページで発表します。
https://www.med.kobe-u.ac.jp/gsm/
また，合格者には合格通知書を郵送します。なお，電話等による照会には一切応じません。

７．入学（進学）手続

（１）入学（進学）手続日・入学（進学）手続書類等

入学（進学）手続日は，令和9年3月中旬の予定です。詳細については，入学（進学）手続に必要な書類等と併せて令和9年2月下旬に通知（郵送）します。

（２）納付金（金額は，令和８年度の例です。）

区　　分		金　　額	摘　　要
入　　学　　料		282,000 円	入学料については，入学手続期間に納付してください。令和9年3月に神戸大学大学院博士課程前期課程，修士課程，専門職学位課程を修了する見込みの者は不要です。
授業料	半期分	267,900 円	授業料納付時期は，４月と 10 月です。 入学時に登録する銀行口座から口座振替により納付してください。 銀行口座の登録方法等については入学手続関係書類等でお知らせします。 ［在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。］
	年　額	535,800 円	

※既納の入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

日本国政府から現在奨学金を支給され，入学（進学）後も国費外国人留学生である者は，入学料，授業料とも不要です。

８．個人情報について

（１）本学が保有する個人情報は，「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」等の法令を遵守するとともに，「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取扱います。

（２）入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学者の選抜（出願処理，選抜実施），合格発表，入学手続業務，及び今後の入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究の検討資料の作成のために利用します。

なお，調査・研究及び結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。

（３）出願にあたって提出された個人情報は，入学者の個人情報についてのみ入学後の学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請等），教務関係（学籍，修学指導）等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。

（４）一部の業務を神戸大学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。

この場合，業務を行うために必要となる限度で受託業者に個人情報を提供しますが，守秘義務を遵守するよう指導します。

９．麻しん（はしか）・風しん，流行性耳下腺炎，水痘の感染予防措置

１．麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では，入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため，「麻しん風し

ん登録制度」を定めています。全ての新入生は次の①，② のいずれかを提出してください。

① 麻しん・風しんのワクチン接種を，満１歳以降にそれぞれについて２回ずつ受けたことを証明する書類（推奨）
② 過去５年以内（令和４(2022)年４月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が，「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次頁の表を参照）を有していること」を証明する書類

＊ ① のワクチンは，麻しん・風しん混合ワクチン（ＭＲワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。
＊ ① では，接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。
＊ 母子手帳等のワクチン接種記録や接種済証も，接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば ① の書類として使用できます。
＊ 既往歴（かかったこと）がある場合は，② を提出するか，ワクチン接種を受けて ① を提出してください。
＊ ② では，下表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され，測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には，必要なワクチン接種を受け，① を提出してください。
＊ ①，② の書類の組み合わせ，例えば麻しんについては ①，風しんについては ② を提出してもかまいません。
＊ 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず，病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には，その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。
＊ 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限：令和９年４月初旬頃（別途指示）
提出先　：神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）

２．流行性耳下腺炎と水痘のワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について
［医学系研究科所定の様式があり，合格発表後に入学試験合格者に郵送されます。］

医学系研究科では上記の麻しん・風しんに加えて，流行性耳下腺炎と水痘についても，①ワクチン接種を満１歳以降にそれぞれについて２回ずつ受けているか，②過去５年以内（令和４(2022)年４月以降）に受けた抗体検査で「発症を防ぐのに十分な血中抗体価（下表及び次頁参照)」を有しているか，のいずれかを証明する書類を所定の様式により提出していただきます。

医療従事者には，原則２回のワクチン接種歴が求められるようになってきていることから，可能な限り①の２回のワクチン接種歴を提出することをお勧めします。罹患歴がある場合は②でもかまいません。

また，血中抗体価が不十分な場合には，必要なワクチン接種を満１歳以降にそれぞれについて２回ずつとなるよう提出期限までに受けていただきます。（２回のワクチン接種は 4 週間以上の間隔をおいて受けることが必要です。）

流行性耳下腺炎，水痘の血中抗体価が不十分にもかかわらず，病気や体質等やむを得ない事情によって予防接種を受けられない場合には，その旨を記載した文書（医師による証明書等）

を提出してください。

提出期限：令和９年４月初旬頃（別途指示）

提出先　：神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）

発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準（医学系研究科）

	測定方法	判定基準	備　考
麻しん	IgG－EIA 法 PA 法 NT 法	16.0 以上の陽性 256 倍以上の陽性 8 倍以上の陽性	３つの測定方法のうち，いずれかで陽性
風しん	HI 法 IgG－EIA 法	32 倍以上の陽性 8.0 以上の陽性	２つの測定方法のうち，いずれかで陽性 （HI 法を推奨）
流行性耳下腺炎	IgG－EIA 法	4.0 以上の陽性	
水　痘	IgG－EIA 法 IAHA 法 NT 法	4.0 以上の陽性 4 倍以上の陽性 4 倍以上の陽性	３つの測定方法のうち，いずれかで陽性 （IgG－EIA 法を推奨）

＊ ワクチン接種歴が条件を満たす場合や追加接種する場合は，抗体検査は不要です。

＊ 血中抗体価の測定は，この表の方法によってください。

＊ 発症を防ぐのに十分な血中抗体価は，測定方法によって異なります。また，単に抗体陽性とされる値よりは高い値なので注意してください。医学系研究科では，麻しんの判定基準が特に高い値となっています。

＊ 医療機関を受診する際には，必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか，予め確認してください。また，この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学 保健管理センター　　TEL 078-803-5245

神戸大学 学務部学生支援課　　TEL 078-803-5219

10. その他

１．入学料免除

次のいずれかに該当する場合は，本人の申請に基づき，選考の上，入学料の全額又は半額が免除されることがあります。

ただし，入学料を納付した者は，入学料免除の対象となりません。

（１）経済的理由によって入学料の納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる場合

（２）入学前1年以内に，学資負担者が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる場合

（３）その他，上記に準ずる場合で本学が相当と認める事由があるとき

２．入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は，本人の申請に基づき，選考の上，入学料の徴収を猶予されることがあります。

ただし，徴収猶予が許可になった場合でも，必ず決められた期間内に入学料を納付しなければなりません。

（１）経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる場合

（２）入学前1年以内に，学資負担者が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
（３）その他やむを得ない事情により納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合

３．授業料免除

次のいずれかに該当する場合については，本人の申請に基づき，選考の上，授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

（１）経済的理由により，授業料納付が困難であり，かつ学業成績が優秀と認められる場合
（２）授業料の納期前6ヶ月以内（新入学者の入学した日に属する期分に係る免除の場合は，入学前１年以内）に本人の主たる家計支持者（留学生の場合、国外居住者は除く）が死亡し，又は本人若しくは主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

４．長期履修制度について

本研究科では，学生が職業を有している等の事情により，標準修業年限（３年）を越えて一定の期間（上限３年）を加えた年数以内に計画的に履修し課程を修了することが可能な制度を設けています。申請書等については，入学手続書類等と併せて郵送する予定です。

出願資格（７）又は（８）による出願資格審査について

１．出願資格（Ｉ２．出願資格（７）（８）再掲）

・文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

ア　大学を卒業し，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

イ　外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

・本研究科において，個別の出願資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，令和9年3月31日までに24歳に達する者

２．出願資格審査

この出願資格により出願しようとする者は，出願に先立ち，本研究科の出願資格審査を受け，出願資格の認定を受けなければなりません。

（１）申請手続

令和8年12月11日（金）まで

受付時間は，9:00～17:00です。（ただし，12:00～13:00を除く。）

郵送による場合は，書留郵便とし，12月11日（金）17:00までに到着した場合に限り受付けます。封筒の表に「医療創成工学専攻入学試験出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。

（２）出願資格審査書類等提出先

神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）

〒650-0017　神戸市中央区楠町７丁目５番１号　電話：078-382-5342

（３）提出書類

①入学試験出願資格認定申請書・履歴書（本研究科所定の用紙）

②出身学校の長が作成した卒業証明書

③研究・開発歴証明書

研究や製品開発又はそれに関連する業務を行った教育・研究機関や企業・官公庁等の所属長，又は代表者が作成したもの。（様式任意）

なお，該当する教育・研究機関や企業・官公庁等による証明ができない場合は本人からの申立書でこれに代えることができます。（本研究科所定の用紙）

④研究・開発成果資料

研究・開発又はそれに関連する業績の基礎となる論文，学会発表，知財等の目録と別刷（複写可）を提出することとし，その他研究業績を示す資料があれば添付してください。

なお，共同で得た成果の場合は，担当した部分を明示してください。

⑤研究・開発業績報告書

和文2,000字程度のもの及び英文1,200語程度のもの各１部（A4判），「修士の学位論文に相当する」研究・開発又はそれに関連する業績の概要を和英セットにして本研究科の所定の用紙を表紙として提出してください。

ただし，外国人の志願者は，英文のみとします。

⑥返信用封筒

定形封筒に410円分の切手を貼付し，住所・氏名を明記したもの。

ただし，大学の医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する6年制の課程を修了した者は，前記の③，④の提出は不要です。

（４）審査方法
書類審査により実施します。

（５）出願資格結果の結果通知
令和8年12月21日（月）までに本人宛に通知します。

３．出願手続

出願資格審査により出願資格の認定を受けた志願者は，本募集要項に基づき，出願手続を行ってください。（なお，この場合は出願書類中の成績証明書及び卒業（修了）証明書の提出は不要です。）

４．出願資格審査申請書類の請求方法

件名を「医療創成工学専攻出願資格審査申請書類請求」とし，①出願資格（７）又は（８）による申請であること，②最終卒業学校名等をメール本文に明記し，以下＜メール送信先＞にメールを送信してください。メール受信後、様式を添付して返信します。

＜メール送信先＞

神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）　ikou@med.kobe-u.ac.jp

Ⅱ　医学系研究科博士課程後期課程医療創成工学専攻案内

1．教育の理念と目的

医療機器は医療を着実かつ効果的に行うために適用されるものであり，老若男女を問わず人体に優しい医療を精緻に施すことで，国民のライフイノベーションに貢献するものです。

幅広く使われる医療機器を創造するためには，工学的な素養と医学的な基礎知識を統合的に活用して医療現場における課題を解決し，新しいコンセプトに基づく医療機器を開発研究することが必要となります。

このため，デジタル技術やナノテクノロジーなど先端技術を積極的に活用し，個別機器ならびにそれらを統合したシステムとしての医療機器開発を行う医療機器システム学分野，精密な診断や治療，人体に優しい手術や治療を実現するための手術支援ロボット・治療機器・内視鏡・画像診断装置・ナビゲーションや判断支援機器等の開発研究を行う精密診断治療機器学分野，人体に留置して診断ならびに治療する医療機器のコンセプトを創造し，プロトタイプの開発研究を行う体内医療機器学分野の 3 つの教育研究分野を医療創成工学専攻に配置します。

博士課程前期課程先進生命医科学専攻医療創成工学領域及び博士課程後期課程医療創成工学専攻の大学院教育においては，前期課程では各教育研究分野の幅広い知識及び学際的視点，特に医療機器に内在している課題を自ら抽出し解決する能力を育成し，医療機器を創造するための教育研究を行うことを目的とします。

また後期課程（医療創成工学専攻）では前期課程教育（医療創成工学領域）を更に発展･深化させるとともに，医療機器開発を主導できる高度な課題抽出及び解決能力，開発チームを牽引する力，豊かな創造性を有する機器開発主導人材・研究者・大学や専門学校等の教員・規制当局等の高度専門職員・ベンチャー起業家等を育成するための教育研究を行うことを目的とします。

2．教育課程編成の考え方及び特色

医療創成工学専攻では，常に医療機器の社会実装を意識し，実践的な演習・実習を軸とした教育を行います。

これら演習・実習や各専門分野に立脚した主要な講義・研究指導は，医療機器を開発した経験を有する医学系及び工学系の専任教員によって行います。

加えて，企業，投資家や規制当局などから多数招聘する外部講師によって医療機器開発の現状及び最新の課題や知見について学べる機会を提供することを教育の基本方針とします。

具体的な特色は以下の通りです。

入学生が修了後に企業や臨床現場において，さらには起業して多様なメンバーとチームを組んで，医療機器開発を主導できるよう，プロジェクトマネジメント手法，経営基礎，アントレプレナーシップ，国際開発実例などに係るマネジメント科目を設け，本学大学院経営学研究科教員及び多くの社会人を非常勤講師として招へいし，実社会とつながった講義として開講します。

また，実際の医療機器開発を課題とし，入学生が主導的に医療従事者や工学研究者たちの協力を仰ぎながら，知財性と事業性を考慮しつつ，医療機器開発を実践します。

3．アドミッション・ポリシー

医学系研究科博士課程後期課程医療創成工学専攻では，社会へ貢献することに強い意欲を持ち，革新的医療機器等の開発を主導し得る人材を養成するための教育研究を行います。

そのために，次のような学生を求めています。

●医学系研究科博士課程後期課程（医療創成工学専攻）の求める学生像

１．新たな医療機器等を創出することで社会へ貢献することに強い意欲を持つ学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕
２．生命倫理を重んじ，医療技術が個人及び社会へ及ぼす影響について理解できる学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力〕
３．思考力を持ち，既成概念にとらわれず，創造的な発見や課題探究に喜びを見いだせる学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲〕
４．旺盛な好奇心を持ち，異分野との交流を積極的に行う主体性とコミュニケーション力を有する学生
〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲〕
５．高い基礎学力を持ち，実践的な体験と高度で専門的な学識の修得から，自らの創造的開発能力の醸成に強い意欲を持つ学生
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために，医学系研究科博士課程後期課程医療創成工学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，医療機器開発に必要な専門的学力とそれを活用し発展させる能力，高度な倫理性と国際的視野に立つ研究素養，これまでの研究実績や実務実績を適正に評価し，以下の選抜において様々な要素を測ります。

一般入試では，「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測ります。

４．教育研究分野，教員，研究内容（キーワード）

教育研究分野，研究内容（キーワード）は下記のとおりです。

本専攻では，各教育研究分野のそれぞれに，医学系の教員と工学系の教員の両方を配置しており，医学と工学を核とした多角的な視野を持てるように涵養し，機器開発及び実用化に向けた教育と研究を行います。

そのために，指導教員と専門分野の異なる副指導教員を置き，教育研究分野を横断した複眼的な教育及び研究開発指導を行います。

各教員の研究内容の詳細は医療創成工学専攻 HP で確認できます。出願の前に教員に連絡し，研究・開発内容について相談してください。どの教員に連絡すべきかわからない場合は神戸大学医学部学務課教務学生グループ（医療創成工学担当）へ連絡してください。

医療創成工学専攻 HP：　https://www.med.kobe-u.ac.jp/mde/staff/index.html

教育研究分野	教員	研究内容（キーワード）
医療機器システム学分野	保多　隆裕	★医療機器開発戦略　★医療機器開発エコシステム ★デザイン思考　★ヘルスケア機器　★保険償還 ★チームビルディング　★薬機法　★低侵襲治療機器 ★診断機器
	菅野　公二	★医用センサ　★非侵襲生体診断　★ナノテクノロジー ★ナノマイクロ機械システム　★光・音響・超音波センサ ★触覚・圧力センサ　★バイオセンサ　★ヘルスケアセンサ ★ウェアラブルセンサ　★医療ロボット用センサ

	祇園　景子	★イノベーション教育　★創造性　★学際的協働 ★ファシリテーション　★システムデザイン ★デザイン思考　★システム思考　★遺伝子工学
	加藤　博史	★ヘルスケア機器 ★電気刺激を用いた治療機器 ★在宅医療機器 ★医療経営と医療機関の分析（診療報酬・DPC/PDPS）
	鷹尾　俊達	★低侵襲治療機器　★診断機器　★生体内分解性 ★内視鏡　★ESD
	松橋　眞生	★生体モニタリング　★神経機能計測 ★脳波・脳磁図　★時系列解析　★脳神経内科
精密診断治療機器学分野	村垣　善浩	★手術支援ロボット　★スマート治療室　★AI 治療 ★ナビゲーション　★画像診断　★低侵襲治療機器 ★レギュラトリーサイエンス　★脳神経外科 ★複合産品（医療機器と薬剤や生物製剤の組み合わせ） ★リハビリ・介護支援
	木内　邦彦	★低侵襲治療機器　★診断機器　★カテーテル ★画像診断　★循環器内科
	森田　圭紀	★消化器内科　★消化器内視鏡　★医工産学連携 ★消化管癌の内視鏡診断と治療 ★次世代内視鏡デバイス開発　★低侵襲治療技術 ★医療機器イノベーション　★遠隔診療支援
	中 楯　　龍	★手術支援ロボット　★内視鏡　★低侵襲治療機器 ★ESD　★カテーテル　★機械工学
	浅井　孝夫	★医学教育　★がん疫学 ★生体情報計測　★遺伝子検査
体内医療機器学分野	向井　敏司	★管腔臓器用ステント　★低侵襲治療　★生体適合性 ★組織締結用クリップ　★整形外科用インプラント ★生体内分解性　★金属材料　★ナノ表面装飾・改質 ★複合材料
	大 谷　　亨	★生体適合性　★生体内分解性　★有機・高分子材料 ★再生医療支援機器　★コーティング　★ヒドロゲル ★人工血管　★薬剤放出制御デバイス　★ナノマテリアル
	富畑　賢司	★知的財産　★医看工芸連携　★高分子材料 ★生体内分解性　★生体適合性　★再生医療用基材
	和田　則仁	★軟性内視鏡手術システム　★手術支援ロボット ★単孔式内視鏡手術　★低侵襲治療機器　★遠隔手術 ★経管腔的内視鏡手術（ＮＯＴＥＳ）　★手術記録システム